

文27 名に①し②負は③ば

④いざ

⑤こと

問は

⑥む

都鳥

わが思ふ人は⑦ありやなしありやなしやと

問一

文中に「し」という単語があつた場合、次の三つの可能性があるが、傍線部の①「し」は次のどれにあたるか。

ア

◎ サ変動詞「す」の連用形
◎ せしすするすれせよ
◎ 「する」と訳せる。

例

うつくしきさまとして

イ

◎ 過去の助動詞「き」の連体形
◎ せきししか○

◎ 連用形+「し」+名詞

▼ 連用形につく助動詞

▼ 連体形だから下に名詞

ウ

強意の意味を付け加える助詞

◎ 削除しても不自然にならない。

文27 名に①し②負は③ば

④いざ

⑤こと問は

⑥む都鳥

わが思ふ人は⑦ありやなしやと

ありやなしやと

ありやなしやと

問二

傍線部②「負は」の終止形は
「負ふ」で、「ず」をつける
と「負はず」になり、「ず」
の上がア段になるので、四段
活用（ア一イ一ウ一ウ一エ一エ）で
ある。この「負は」は何形か。

ア已然

オ已然

ア未然

オ已然

イ連用

力命令

ウ終止

エ連体

文27名に①し②負は③ば

④いざ

⑤こと

問は⑥む都鳥

わが思ふ人は⑦ありやなしやと

問三

傍線部⑤の「ば」は次の三つの訳を持つ。この場合は？

アもしゝならば

※已然形 + 「ば」

イゝので

※已然形 + 「ば」

「ば」の上の出来事が原因で、「ば」の下の出来事が起こった。ウゝすると・ゝしたところ

※已然形 + 「ば」

「ば」の上の出来事のあと、「ば」の下の出来事が

たまたまが起つた。

問四

傍線部④は「さあ」という訳になるが、次のどちらにあたるか。

ア人に誘いかけるときのかけ声

例皆の者、いざ戦はむ。

イ自分が始めるときのかけ声

例寒し。いざ風呂入らむ。

文27 名に①し②負は③ば

④いざ

⑤こと

問は

⑥ば

む都鳥

わが思ふ人は⑦ありやなしやと

問五

傍線部⑤の終止形は「言問ふ」で、次の四つの意味を持つが、ここではどの意味で使われているか。

ア物を言う

例

言問はぬ犬とてなさけあり

けり。

イ尋ねる

例

「宿題や終へたる。」と友

に言問ひけり。

ウ訪れる

例

言問ふ人もなき村なり。

エ手紙を書く

例

遠く離れし田舎の母へ言問ひけり。

文27名に①し②負は③ば

④いざ⑤こと問は⑥む都鳥

わが思ふ人は⑦ありやなしやと

問六 傍線部⑥「む」の意味は？

◎ 「む」 + 「名詞か名詞省略」

ア仮定（としたら）

例 僧になさむ「こと」は苦し。

イ婉曲（訳不要）

例 し出さむ「こと」を待つ。

※柔らかにするための「む」

◎ 「む」（下には名詞は絶対来ない）

提案してない

ウ推量（だろう）

例

雨降らむ。

エ意志（しよう）

例

我肉食はむ。

※「むとす」はウがエだが、

この見分け方は使えない。

提案している

オ勧誘（したらどうか）

相手あり

例

一郎、花を見てこそ帰らぬ。

力適当（のがよい）

相手なし

例

子はなくてありなむ

このページは空白ページです